



アクセス

公共交通機関を利用したアクセス方法

- 北総鉄道「千葉ニュータウン中央駅」から徒歩約45分、タクシー8分
- 北総鉄道「印西牧の原駅」から徒歩約35分、タクシー7分
- 印西市ふれあいバス、ちばレインボーバス「高花」停留所より約150メートル

車を利用したアクセス方法

- 千葉北ICから国道16号経由約30分
- 柏ICから県道170号経由約50分

草深の森

所在地：印西市草深178-2

利用料：無料

駐車場：無料駐車場有り。普通車10台程度駐車可能

※トラックやバスなどの大型車両による駐車場の使用は不可

利用時間：1月・2月・11月・12月【7:00～16:00】

3月・4月・9月・10月【6:00～17:00】

5月・6月・7月・8月【6:00～18:30】

・利用時間外での施設内への立ち入りは、ご遠慮ください。

・利用時間外は駐車場出入口を施錠しています。

・12月28日～1月4日はご利用できません。

必ずお読みください！

これからも楽しく草深の森を利用するためのお願い

❶ 長そで長ズボンの着用

自然の森のため、5月から10月の終わりごろまでは、蚊やハチが発生することから、ご利用の際には、長そで長ズボンを着用するなど虫刺され予防対策をお願いします。なお、上記の期間以外でも過度な肌の露出はケガの原因になりますので長そで長ズボンの着用をお勧めします。※蚊やマダニ、ハチへの対策には白色を基本とした服装が有効とされています。

❷ 危険な生物には決して 近づかない。

8月から10月にかけては、スズメバチの攻撃性が高まる時期になります。見かけた際には、決して近寄らず、速やかに離れるようお願いします。また、それ以外の危険な生物(ムカデ・ヘビ等)を見かけた際にも、近寄らずにその場から速やかに離れるようお願いいたします。

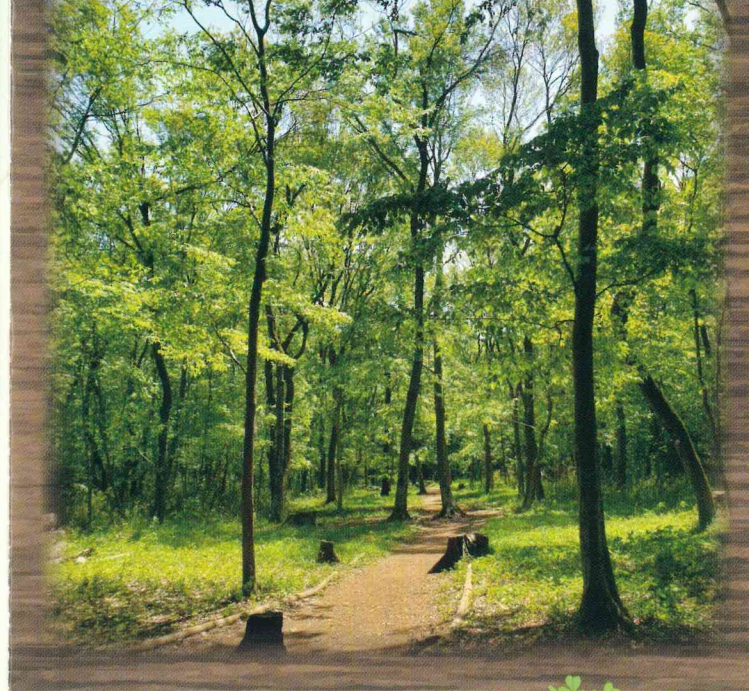
❸ 生き物の採取禁止

近年、草深の森ではカブトムシやクワガタが過度な採取によって、数を大きく減らしています。また、採取に伴い木の根元の掘り起こしや木の皮がめくられてしまうなど生き物たちの住処が壊されてしまうような行動が確認されています。これから先も、草深の森の豊かな自然環境を維持していくためにも、ご利用マナーを厳守していただきますようお願いいたします。

その他注意事項

- ・ほかの利用者の迷惑となるようなご利用は控えください。
- ・施設内にゴミ箱はありません。ゴミは必ず持ち帰るようお願いします。
- ・園内での喫煙及び火気の使用は禁止です。
- ・希少な動植物が存在します。絶対に持ち去ったり、別の場所から持ち込んだりしないでください。
- ・施設内は、危険な箇所や一部私有地があることから施設関係者以外の方が、許可なく遊歩道を外れて森林内へ立ち入ることを固く禁止しています。

草深の森



千葉ニュータウンに隣接する「草深の森」は、面積約8.8haにも及ぶ広大な敷地内に、針葉樹林や照葉樹林、雑木林が混在し、草花をはじめ、昆虫・鳥といった様々な動植物が生息・生育するなど、多様な自然環境により形成された市民の森です。

自然あふれる森の中には遊歩道があり、季節を感じながらの森林浴やウォーキングを楽しんだり、森の中に設置されたテーブルやベンチで、読書や仲間とおしゃべりをするなど、憩いの場所として活用することができます。

また、草深の森では、教育機関並びに市民団体による自然観察会や体験学習など環境教育の場としても活用されています。

訪れた際には、里山風景や四季折々で変わる森の姿を是非お楽しみください。

印西市環境経済部環境保全課
TEL 0476-33-4491



草深の森での活動

環境保全活動 / 体験学習



カブトムシの幼虫の住処を作る保全活動

森の音楽会【毎年10月末頃開催】



自然の中で奏でるプロの演奏者による音楽会

活動団体の紹介

NPO法人ラーバン千葉ネットワーク

草深の森を中心に市内で環境保全活動を行う、「RURBAN=田園と都市が互いに助け合い共生するまちづくり」という理念の実現を目的とするNPO法人です。

その他、団体が草深の森で行うイベントや保全作業についてはHPをご覧ください。

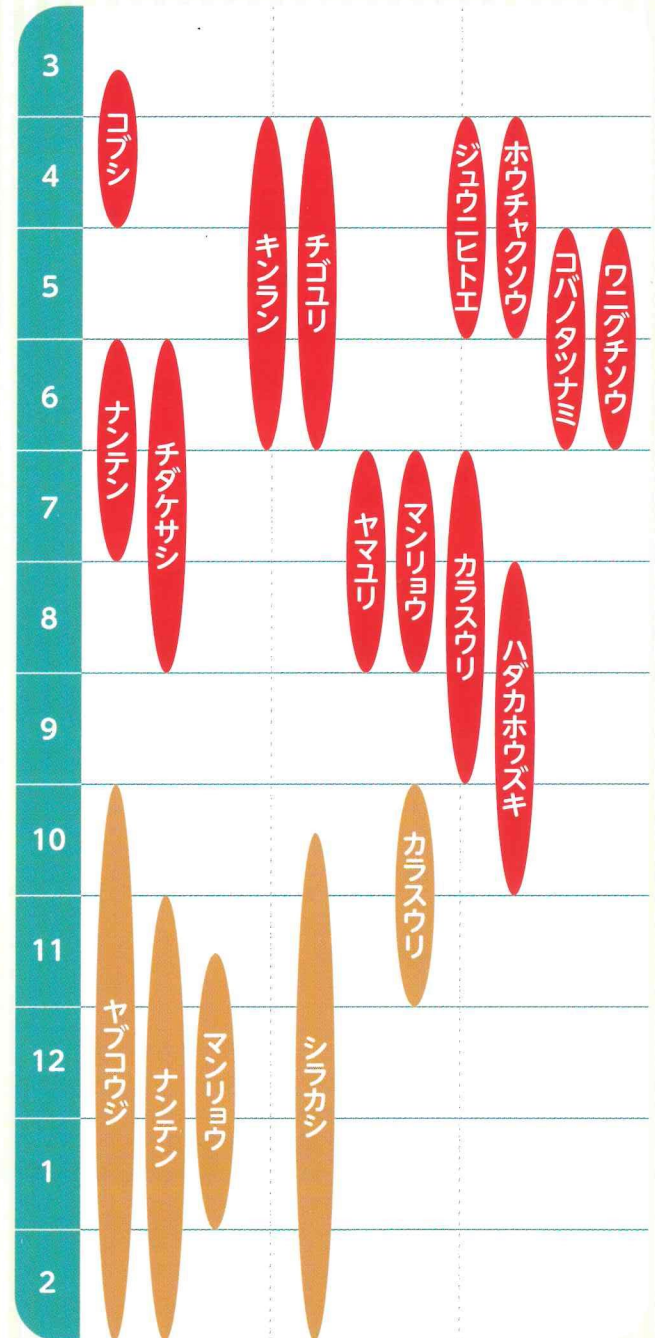
Rurban
Chiba
Network
田園と都市が支え合うまちづくり



【画像提供】・NPO法人ラーバン千葉ネットワーク
・いんざいパルケ



季節の草花



赤：開花時期 茶：結実時期